参考資料３

第1回委員会における意見等への対応について

●千葉市公共施設等総合管理計画の中間見直しについて

No.	意見の概要	対応（案）
1	数値目標の設定は必要である。 設定にあたっては、細分化して設定すれば所管課の責任の所在が明確になり、進行管理をしやすくなるのではないか。 また、ハコモノについては、施設の利用度とリンクさせながら施設分類別に設定できるとよいのではないか。	資産の総合評価（2巡目）の結果を基に、施設分類別の目標値を総合管理計画の中に反映させていくことを検討していきます。
2	各施設の目標耐用年数については、構造によって異なるため、一律に伸ばせばよいというものではなく、安全性を第一に決めるべき。	計画的保全対象施設については、築後60年までの使用を基本とし、建物劣化度調査の結果等を踏まえながら、個別の施設の状況により目標耐用年数を設定していきたいと考えております。

●資産経営システムによる今後の取組みについて　～資産の総合評価2巡目～

No.	意見の概要	対応（案）
1	データ評価で課題のなかった施設は総合評価を実施していなかったが、課題のない良い施設の分析も必要ではないか。	施設グループ間アプローチにおいて、比較検討する中で、良いグループの傾向や機能（諸室等）が見えてくる可能性がありますので、ご意見を参考にしながら取り組んでいきます。
2	施設総量の縮減では、3施設を1施設に集約するという面的な考え方からの整理と、中学校区に1施設から、区で1施設のように圏域 を拡大して整理する2つのパターンがあるはずである。それを見据えて評価していくべき。	施設別アプローチの結果、利用見直しとした施設について、周辺施設の状況も勘案しながら、個別案件として利用調整を行っていくことを検討していきます。利用圏域についてもあわせて考慮していきたいと考えております。
3	利用度、運営コスト以外の切り口があるとよいのではないか。	施設グループ間アプローチにより課題が大きいと思われる施設グループから、機能（諸室等）に着目し、分析を行っていきたいと考えております。
4	1巡目で見直しと評価した施設の利用調整について、調整状況については本委員会に情報提供を願いたい。	今回の委員会にて報告いたします。 今後は、毎年度、利用調整の進捗を報告いたします。
5	総合評価で具体的に何を対象に評価するのかについて、用語を統一し、市民にわかりやすく伝わるよう明示していただきたい。	千葉市の考え方を整理し、今後の委員会のなかで示していきたいと考えております。
6	利用者の数だけでなく、年齢層などの詳細なデータで評価できるとよいのではないか。 また、施設毎の設置目的に対して、その目的がどれだけ達成されているかという点についてもデータ化して評価できるとよいのではないか。	現状として、年齢層などの詳細なデータはアンケートを実施しないと把握できない部分となっております。 総合評価を行う際に、ご意見を参考にしながら取り組んでいきます。